

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 ぱずる		
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日～令和7年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日～令和7年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月20日～令和7年2月10日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	対象児の特性、興味、関心を熟知し、支援方法に精通している	児童発達支援事業所との併用されている児童もいるため状況が掴みやすい 市町村の保健師との連絡も密に行っているため様々な角度からアプローチできている	保育所等訪問支援の児童に関しては今後、必要に応じ児童発達支援や放課後等デイサービスの併用を進め療育に繋げていく
2	訪問支援員が少ないことから共通認識が出来ている	支援開始前や支援後のミーティングの機会を多く持ち、次回の課題を話し合うことが出来ている	今後訪問支援員の員数を増やし様々な視点から訪問先へのアドバイスができるようにしていきたい
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先との訪問時以外の連絡や情報の共有がより必要	訪問先と訪問時以外に情報共有を行う時間が短かったと思われる	必要に応じて次回訪問時に課題や配慮が必要と思われる内容について文書で伝えることや、当事業所から積極的に情報共有を行っていく
2	保育所等訪問支援の事業の内容については、利用開始時に保護者、また訪問先施設に伝えるようにしているが、その趣旨が上手く伝わっていないと感じることがある	パンフレットをお見せしながら説明しているが、分かりにくい様子。福祉サービスの利用の流れからの説明になり自時間がかかる	保育所等訪問支援を初めて受け入れる訪問先施設には事業の内容に十分な理解を得られるよう、口頭での説明の他回ドライブを抜粋した資料を使い理解していただけたらと考えてる
3	訪問支援員の引継ぎや育成が不十分	職員の異動等に伴い訪問支援員が途中で変更することがある	予め、園へ丁寧な説明を行うと共に、十分な引継ぎや訪問支援員の育成を継続していく必要がある